

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 美空	代表者	津野 克久	法人・事業所の特徴	株式会社美空は、高知県南国市・香美市に高齢者介護の事業を展開しています。現在、地域通所介護の施設を3軒、小規模多機能型の施設を2軒、居宅介護支援事業所を南国市立田にある本社1階に構えさせていただいています。地域に根差した介護を心掛け、利用者様、ご家族様の思いに寄り添ったケアを提供できるよう日々、取り組んでおります。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所みそら	管理者	川村 友紀		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1名	0名	2名	0名	0名	1名	0名	14名	0名	18名

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
----	---------	-------------------	----	---------

<p>A. 事業所自己評価の確認</p>	<p>① 情報の収集に努める。ご家族やご本人様と積極的にコミュニケーションを図り話しやすい関係性を作る。ご家族にお会いできたときは困りごとや不安を聞き出す。</p> <p>② 個別で対応できる時間を設ける。</p> <p>③ すべての利用者様に必ず言葉かけを行い体調の観察に努め、少しの変化も都度共有する。</p> <p>④ 地域の方と積極的に関わり地区のイベントや行事等を聞き取り参加の働きかけを行う。</p> <p>⑤ 個別支援計画の内容を理解し必要な支援を行う。</p> <p>⑥ 地域の活動への参加や近隣の子供達と交流できるよう工夫する。</p> <p>⑦ 引き続きご家族や地域の方が訪れやすい環境、意見や思いを伝えやすい関係性の構築に努める。</p> <p>⑧ 施設内、外部の研修、講演活動に積極的に参加する。</p> <p>⑨ 引き続き身体拘束、虐待のない環境作りに努める。利用者様の尊厳を守る対応を徹底する。</p>	<p>① 周知される情報については理解するように努めている。積極的に利用者様に寄り添い会話するように努め状態の変化など観察している。送迎時には自宅が変わった事がないか聞き取るよう努めた。</p> <p>② 介助が必要な方に対応する時間が多くなりがちで全ての利用者様に個別に対応する事が出来なかったが、日々の状態を観察しご家族や主治医と共有する事で早めの対処ができた。</p> <p>③ 食事、水分摂取時の様子や活動時の様子、夜間の様子を観察し申し送りでも共有できた。ご家族には連絡ノートや送迎時、電話連絡などで状態を共有でき変化時には早めに対応できた。</p> <p>④ 参加する事ができた。まだ行けていない職員がいるので継続して働きかけを行う。</p> <p>⑤ 個別援助計画の内容を把握し必要な援助を行う事ができたが、一部の職員は十分に把握できていなかった為、把握できるよう徹底する。</p> <p>⑥ 近隣の保育園から運動会の練習風景を見に来ませんかと案内いただき見学に出かけた。</p> <p>⑦ ご家族や地域の方が訪れやすい環境、意見や思いを伝えやすい関係性の構築に努める事ができた。</p> <p>⑧ 地域で開催される講演活動に参加する職員が偏っている。研修については内部研修のみで外部の研修にはほとんど参加できていない。</p> <p>⑨ 身体拘束、虐待についての研修の場を持ち会社全体で共通認識した。</p>	<p>9つ観点での自己評価ができています。職員全員が各観点での活動を振り返っていることが確認とれました。</p> <p>「前回の改善計画」に「取り組んだ結果」を振り返り、自己評価を実施され「次回の改善計画」に反映されている事を確認しました。「理想」「使命感」「意気込み」に基づくそれぞれの改善計画に対して具体歴なアクション、行動に結びついていることを確認しました。客観的なデータによる達成感の定量分析が望ましいですが、スタッフさんの対応の負荷大となるので「具体的なアクション」と「良かった点」「悪かった点」等を絞り込み、最重点項目について「PDCA(計画、実行、チェック、改善)のプロセスをノウハウとして蓄積していけば全体の効果upにつながると思います。</p> <p>「地域での暮らしの支援」「連携、協働」「質を向上するための取り組み」についての自己評価が「殆どできていない」という方が多い。形式に捕らわれず、現実的な目標と対応策を再認識し達成可能なレベルを共通認識して少しずつ前進するよう取り組まれてみてはいかがでしょうか。「小さな成功体験」の積み重ね～達成感、充実感を得て頂きたい。</p>	<p>「コミュニケーションを見直す」情報共有しているつもりが全員に周知徹底しきれていない場合があります。職員間の声掛け、気配り、注意し合い、適切でより良いサービスが提供できるようスキルアップを目指します。</p>
----------------------	---	--	--	--

<p>B. 事業所の しつらえ・環境</p>	<p>「清潔な環境作り」 室内の温度、湿度、換気等に配慮し過ごし やすい環境に努めます。 室内外の清掃、整理整頓をし過ごしやすい 環境に整えていきます。</p>	<p>施設内外の掃除の時間や役割分担をきめ る。整理整頓の仕方を統一するなどして取 り組んだ。職員によって綺麗に対する意識 の違いがあり整理整頓を保つ事が出来ない 箇所もあった。 感染予防の為に換気、室温や湿度に十分気 を付けた。</p>	<p>事業所の雰囲気、スタッフさんともに明る いイメージがあります。行事、イベント多 く利用者さんの満足度向上に繋がっている と思います。現在の良い環境をこれからも 絶時願います。</p>	<p>「心安らぐ空間づくり」 利用者様が落ち着いて過ごせる空間になる よう努め、ご家族、近隣の方が訪れやすい 環境を維持していく。</p>
----------------------------	--	---	--	---

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>Ayamu の閲覧を習慣化し情報を活用していく。事業所地区内の集会や清掃活動にも積極的に参加する。</p>	<p>Ayamu の閲覧は一部の職員のみで習慣化できていない。地域の清掃活動、集会に積極的に参加できた。ご近所様への挨拶は徹底して行っている。</p>	<p>運営推進会議の場および会議資料でおおむね理解できました。前回の改善計画の「Ayamuを活用する」については具体的な内容が把握できませんでした。ホームページやブログで事業所の様子が紹介されており「開かれた」事業所として認識されていると思います。地域と積極的にコミュニケーションをとろうとされている姿勢、意欲が感じられます。</p>	<p>「地域の方との関わりを大切にする」 引き続き、地域のイベント集会に参加し地域の方との関わりを大切に。特定の職員に偏らないよう職員全員が関わりを持てるようにする。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>地域との関わりを積極的に行う。引き続き地域の方との関わりを大切にし困りごとや意見を頂ける環境に努めます。</p>	<p>寒い時期は外にでる機会が少なくなってしまいがドライブや道の駅などへ買い物に出かける時間を作った。地域のイベントには数人しかお連れする事ができなかった。</p>	<p>運営推進会議、および会議資料に基づく状況報告にてよく活動されていることが確認できました。利用者さんを施設外へお連れする行事、イベントが多く感心しました。地域とのかかわりも積極的に取り組まれていることが伺われます。利用者さん及びそのご家族の方とよくコミュニケーションをとるようにされていることがわかります。また、地域の組織、団体との交流も意識されておられます。あまり形式にとらわれず、外出時などの「地域との日常の小さなふれあい」を通じて関わりを継続されてはいかかでしょうか。</p>	<p>「柔軟な対応で暮らしを支えます」 地域の方が住み慣れた環境で少しでも長く暮らしていけるよう、小規模多機能でできる柔軟なサービスを活かし暮らしを支えていきます。ご家族や近隣の方々が相談しやすい関係性、環境作りに努めます。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>運営推進会議にて頂いた意見を活かす。会議に出席して頂いた方からの貴重な意見を職員間で共有し改善すべき課題については改善に努める。</p>	<p>たくさんの意見をいただき、またお出かけ場所の提案も頂きドライブにお連れする事もできた。地域の方から頂いた提案の一つの移動スーパーは利用者や職員、近所の方も楽しみに利用されている。</p>	<p>運営推進会議では利用状況、「事故、ヒヤリハット状況、地域活動、施設活動などの報告が実施され運営推進会議メンバー全員で積極的な発言、意見交換がされています。「改善計画についての取組」の「状況、隔月実施の「運営推進会議の意見にたいする改善状況」ともに「簡単な振り返り」で進捗状況を確認、共有してはいかかでしょうか。</p>	<p>「積極的な意見交換をする」 運営推進会議では様々な関係者に集まっていたご意見、良いアイデアを頂いております。今後も積極的に意見交換を行い質の向上を図ります。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>防災、災害訓練の強化 定期的に行っている訓練に加え訓練の回数を増やし備蓄品の防災用品の確認、管理方法の見直しを行い災害時に備える。</p>	<p>訓練の回数を増やす事は出来なかったが、災害時の備蓄品や感染症対策に必要な物品の見直しを行い、必要時に職員が取り出しやすいように保管場所を変更した。</p>	<p>事業所の防災計画を運営推進会議のメンバーにも共有してはいかかでしょうか。</p>	<p>「防災、災害訓練の強化」 いつ来るか分からない自然災害に備えて、初動対応、インフラ停止への備え、連絡体制等、訓練する。訓練を行った際の問題点など運営推進会議で共有する。</p>